

2023年度

# ホホバ頒布会便り

# 冬号

～健やかな毎日の素肌と髪のために～

年4回・季刊発行

冬は乾燥した冷たい外気だけでなく、暖房で乾燥した室内でも、お肌の水分は奪われていきます。  
髪も水分量が減って乾燥してくると、キューティクルが開いてパサつき、更に乾燥が進んでしまうので要注意。

冬のお肌は  
徹底保湿！  
乾燥からお肌を  
守りましょう

乾燥した冷たい風がお肌や髪に辛いこの季節は、お肌の敵「紫外線」は弱まりますが、もうひとつの大敵「乾燥」が猛威を振るう時季です。  
徹底した乾燥対策で潤いを保つ事が大切です。お肌の水分量をキープし、瑞々しい潤い素肌でこの冬を乗り切るため、徹底保湿を。



冬のお肌は、たっぷり水分を含んで弾力のある、柔らかい状態のままです。しっかり保湿する事が大切です。  
お風呂上がりは時間を置かず、すぐにお手入れする様にしましょう。

入浴時の蒸しタオルパックなども効果大です。

## 細かなトラブルも

### 乾燥が原因

冬場は、乾燥でお肌の弾力が失われて傷つきやすくなってしまい、ちよつとした事ですり傷や切り傷など、お肌のトラブルが増えてきます。

お肌の乾燥を防ぎ、お肌の潤いと弾力を保つことで、細かな傷や肌トラブルを防ぎましょう。

お肌の水分の蒸発を防ぎ、潤いを保つためには、お風呂上りや洗顔後、素早く保湿のお手入れをする事他にも、乾燥した室内には濡れタオルを掛けたり、加湿器を置くなどの対策もとりたいると良いでしょう。



# 冬のお肌の乾燥対策はホホバで徹底保湿！

お肌の老化原因は「紫外線」と「乾燥」。

このふたつが老化の大きな原因で、加齢による自然な老化は数パーセントといわれています。

特にこの時季は、お肌の乾燥トラブルが急増する季節。潤いを保って冬の素肌を乾燥から守りましょう。

## ◆乾燥がお肌の

### 老化を加速する



乾燥した冷たい空気に晒され、お肌からどんどん潤いが奪われていってしまふこの時季は、乾燥によってお肌の弾力が失われ、小ジワやカサつきが目立ちやすく、出来てしまったシワが戻りにくくなります。

出来てしまったシワをそのままにしておくと、徐々に戻りづらくなり、しっかりと深いシワになってしまいますから、要注意です。

また、冬の乾燥で保水力がグンと落ちてしまうと、お肌は角質層を厚くして水分量を守ろうとします。その結果、硬く厚くなったお肌はくすんで暗い肌色になっていってしまうのです。

## ◆徹底保湿で

### 潤いをキープ



乾燥を防ぎ、お肌の水分量をキープして、潤いのあるお肌でいるためには、徹底保湿のお手入れが必要。そんな時の強い味方がホホバです。

お肌の表面だけでなく、しっかりと奥まで浸透して、内側からふっくらと柔らかいお肌を取り戻してくれるホホバは、冬のお肌に欠かせません。朝晩のお手入れの仕上げには、お顔全体にホホバを薄く伸ばし、お肌を乾燥から守りましょう。

また、お顔や手指のお手入れはもちろん、ひじ・ひざ・かかと・足のすねや脇腹等の乾燥しやすい部分にも、ホホバで保湿のお手入れを。

お風呂上がりの、柔らかく潤ったお肌に優しく伸ばしましょう。



# ホホバの優れた性質



## ■天然自然だから固まります

ホホバは、寒暖差の激しい環境で実の成分を固体と液体に変化させ水分の蒸発を防ぐ植物です。

約7℃以下で固まりますが、それが天然自然の証です。

## ■黄色と白色の違い

ホホバは黄金の色素の中に髪に良い成分があるといわれ、髪のお手入れ全般におススメです。

原液を精製し、色素を抜いた白色透明はお肌のお手入れ全般に。

## ■油焼けはしません

「ホホバオイル」とも呼ばれるので「油焼け」するのと心配される方がいますが、安定性の高いホホバは、熱や紫外線でも劣化せず、油焼けはしません。



## ■ホホバクリームとは？

白色ホホバを天然自然のまま、特殊な製法で固形化したホホバクリームは、ホホバと成分は同じでお使い心地も◎です。



# ホホバ保湿で乾燥知らずの潤い肌

## ■ホホバで蒸しタオルパック

お顔にたっぷりホホバを伸ばし、蒸しタオルで全体を覆い（口元は開けておく）後は、湯船に浸かる間そのままにしておくだけでOK。水分を含んだお肌にホホバが浸透して、奥からふっくらと弾力あるお肌をキープできます。

## ■寝ている間にホホバ

手荒れやかかとのガサガサは、ホホバで寝ている間に解決。たっぷりホホバを伸ばし、手袋又は靴下を着け一晩そのままに寝ている間にホホバがしっかりと浸透し、翌朝ツルツルのお肌に。

## ■赤ちゃんやペットにも

ホホバは皮脂に類似した成分を持ち、天然の100%抽出液ですから赤ちゃんにも安心安全。お口に入っても無害ですからワンちゃんネコちゃんが舐めてしまっても大丈夫です。

## 頒布会使いがリニューアルしました！

今後は春夏秋冬の年4回、季刊発行となり、紙面も一新して、より充実したお役立ち情報を皆様にお届けしてまいります。どうぞお健やかな毎日にお役立ててください。

